

新規スピントロニクス現象と応用の可能性

2015年9月15日(火) 13:15~17:00

名古屋国際会議場 3A会場 (3階国際会議室)

要旨

電子の持つスピンと電荷を制御するスピントロニクス分野は、物理的興味深さに加え、そのユニークな応用の可能性が注目を集めています。近年はスピン軌道相互作用を利用したデバイス、ジャロシンスキ・守谷相互作用を利用した磁区構造の制御、電界による磁性制御を応用したメモリ、など新概念により創出された現象と、作製技術の進歩により再び価値が見直された諸現象、およびその応用に関心が寄せられています。注目すべき最新の現象について、今後の将来展望を多分野と共有することを目指しています。多くの皆様のご来場をお待ちしております。

講演予定

13:15 ~ 13:45 小林 研介 (大阪大学)

メゾスコピック系におけるスピン依存伝導と非平衡電流ゆらぎ

13:45 ~ 14:15 新田 淳作 (東北大学)

スピン軌道相互作用とそのデバイス応用

14:15 ~ 14:45 関口 康爾 (慶応大学)

スピン波輸送とマグノニック機能デバイス

14:45 ~ 15:15 林 将光 (物質・材料研究機構)

薄膜ヘテロ構造におけるスピン軌道効果と電流駆動磁気デバイス

15:45 ~ 16:15 千葉 大地 (東京大学)

磁性に対する電界効果の最近の進展

16:15 ~ 16:45 安藤裕一郎 (京都大学)

シリコンベース・スピントロニクスデバイスの将来展望

16:45 ~ 17:15 齊藤 英治 (東北大学)

スピンと角運動量の新しい使い方

世話人

鈴木義茂 (阪大)、三輪真嗣 (阪大)、中根了昌 (東大)、金井 駿 (東北大)

企画

応用物理学会 スピントロニクス研究会

<http://annex.jsap.or.jp/spintro/>

